大阪城

2020 11/16 (月) 14119号

全港湾 西成分会

とくの 6647-4947

紅葉が小さな公園でもめだつようになった。
秋も深まり、今年も、都構想や大統領選挙も
終り、今年の店じまいに入る頃だが
コロナウィルスが第3波だといって
ゆっくりはさせてくれそうもない。
目には見えないコロナウィルスには世界中の
科学者たちも、てこづっているようだ。薬や
ワクチンも、すぐのようにせかされてはいるが、
現実には、なかなか手には入らない段階だ。
火の玉だった地球が冷えて、細菌、シアノバクテリア
が生れ酸素を地球にはき出すころ、30億年も
前、たぶんウィルスもできてきているのだろう。
人類、人間などはたかが700万年ほど前からの
新参者になる。目には見えない、微小の原子の
原子核を分裂させたり、くっつけたり、原子爆弾や
水爆はつくれても、ウィルスの法則を阻止したり、
消滅させる方法は、まだ開発できていない。
科学者をイジメルのではなく、活躍を期待したい。
イソジンですむなら、だれもさわぐ所はしない。

新型コロナ拡大第３波

西成の日雇い労働市場の見通しもさらに悪化しそう。

コロナの感染「第３波」。大変な様相に。大阪はここ数日一日３００人弱の感染者が出てきていますが、これから寒くなってくるので、もう一段と爆発的拡大になるかもしれません。

現在感染発症している人は2週間前に感染したということなので、「都構想住民投票」の時期に当たるので、巨額な無駄遣いとあわせて松井維新市長の責任というか「罪」は重いと思います。

いつかコロナも山を越えるだろうとして、「そのうち経済も回復するだろう」と、淡い期待をだれしも持ちたいところですが、センターの現金求人も回復の兆しはなく40％ダウンから50％くらいの落ち込みに向かっていくかもしれません。

今年も残りが1カ月半、年末年明け準備どうなる？

年末・年始の「無料宿泊所」の越年対策、もうすぐ12月初めには公表されることと思いますが、関心のある仲間も多いと思うので注視しています。

コロナが長期化して、職を失ってホームレス化して西成に流入することも考えて役所も準備が必要になるかもしれません、